学校番号	２１２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	美術３　（光村図書出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術を学ぶとは、何が美であるのかを探る行為を通して、物事の本質は何なのかを考えることである。
・作品の良さについては、実際に作品を制作しつつ国内外の様々な作家や作品から幅広く知識や技術を学び、自身の取り組みの意味や喜びを見つけて得た成長の成果とする。表現したいものや表現方法にこだわりを持って制作し、試行錯誤を重ねることで到達するものであり、表現の深さや強さとして表れ、作品の密度や完成度に結び付く。
・鑑賞においては、優れた作品に接して作者の制作意図や時代背景を学ぶことで、作品を見る目を養い、技術面だけでなくより深く表現活動や作品制作の意味を理解するものとする。また、自己の作品制作に求めるものを考える手立てでもある。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・課題に関心を持ち、主体的に積極的に取り組んでいる。 ・こだわりを持って取り組み、より良い作品になるよう試行錯誤しつつ制作している。 ・準備、後片付けに至るまで、課題を念頭におきつつおこなえている	・課題に対し、自分なりの解釈や表現を試みている。 ・常日頃からの様々な芸術文化、社会への関心の深さが発揮されている。	・作業手順を理解し、無駄なく動けている。 ・材料、道具の特性や良さを生かして表現している。 ・それぞれの作業を丁寧に行っている。	・学んだ分野や特性、その課題の魅力を理解して、自他の作品や国内外の作家の作品を鑑賞している。 ・学んだ材料、道具についての知識を持ちつつ、独自の観点で作品の良さを見つけている。
評価方法	・作品 ・ワークプリント	・作品 ・ワークプリント	・作品	・ワークプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン	「4色の切り絵ポスター」 ・自分でテーマを考え、テーマに沿った下絵を描く。また、絵のイメージに沿った色の用紙を4枚選ぶ。 ・描いたイラストを、4色の紙の重なりで表現できるように考え、4枚の下描きに分解する。 ・B3のパネルに1番下になる用紙を水張りする。 ・下描きをもとに、重なりを想像しながら3色の紙を順番にカットしていく。 ・すべての紙をカットし、下から順番にスプレーのりで貼り付けて作品を完成させる。 ・作品を展示し、自分と他の人の作品を見て感想をレポートにまとめる。	○	◎	◎	○	a: テーマを決定し深めるための資料集めなどを積極的に行っている。 b:限られた色で効果的な表現ができるよう、カットされた紙の重なりを想像しながら下描きを４分解できている。 ｃ：水張りの方法を学び、手際よく美しく張れている。完成図を想像しながら制作の手順を考えている。デザインナイフの安全な使い方を理解し、適切に使用できている。 d:自分と他の人の作品を比較し、それぞれの良さについて言葉で表現できている。	取り組みの様子 作品 レポート
	鑑賞	「作家の生涯と作品」 ・教科書「美術3」 p. 12～13を見ながら作家の生涯にと作品を知る。 ・作家が作品を制作する動機や表現スタイルについて調べ、その効果や影響力について自分の考えをレポートにまとめる。 ・まとめたことを発表する。	◎			◎	a：作家の生涯に関心を持ち、積極的、主体的に取り組むことができている。 ｄ：時代背景や、制作動機を学び、知ったことを基に自分の考えをまとめている。	取り組みの様子 レポート

2学期	立体	「木工パズル」 ・木の性質と加工を知り、木でできたものの良さについて様々な作品例を見て学ぶ。 ・テーマを決め、木の性質を考慮してアイデアスケッチを描く。それぞれの形が上手くかみ合うように、一つ一つのピースの形を考える。 ・電動ノコギリの使い方を学び、安全に使用して、素材を切る。 ・切った素材をサンドペーパーで丁寧に磨く。 ・彩色して完成させる。 ・実際にパズルを組み立ててみて、玩具としての難易度や使い心地について振り返りレポートにまとめる。	○	◎	◎	○	a:課題に対し関心をもち積極的に取り組んでいる。 b：無駄のない形でありながら、それぞれのピースが組み合わされるようにデザインが工夫されている。 箱の表とピースのデザインをうまく関連させ、ふたを開けたときの効果を考えている。玩具として触れたくなるような魅力を表現している。 c: 電動ノコギリを安全に使って切っている。 使用後の掃除をきちんとしている。ペーパーがけが丁寧に十分にできている。 蓋の開け閉めなどスムーズにできる。 d：作品を使ってみた時の良さや面白さを言葉で表現できている。	取り組みの様子 作品 レポート
3学期	絵画・版画	「メッセージカード」 ・様々な版を知り、その仕組みを理解する。 ・凸版単色刷りの版づくりの方法を理解しつつ、人に贈って気持ちを伝えるためのメッセージやイラストの図案を描く。 ・図案を版に写し、彫刻刀で彫る。 ・メッセージカードになる紙を準備し、インクをつけて刷る。 ・複数枚刷り、差出人名や宛先を書いて完成させる。	○	◎	○		a:様々な版の仕組みに関心を持ち、積極的に取り組んでいる。 b: 受け取る相手の反応を想像しながら、絵や文字の形や配置を工夫し、気持ちを伝えるための図案づくりができている。彫って表現することを踏まえて図案を工夫している。 c:彫刻刀の正しい使い方を学び、安全に作業できている。版の特性を理解して適切に彫り、刷ることができている。	取り組みの様子 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。